

アドベント運動の歴史

1888-1891

AT ジョーンズ、EJ ワゴナー、EG ホワイトは、SDA キャンプミーティングや地元の教会と一緒に出向き、1888 年のメッセージを宣べ伝えました。

1890

「荒野の 40 年」の始まり

画期的な声明

エレン・ホワイトは 2 年後、手紙と著書『警告は却下された』の中で、この年について人々にこう告げています。「もし指導者たちが 1888 年に新しいメッセージを受け入れていたなら、私たちはその日から 2 年後に神の国にいたでしょう。しかし今、教会は 40 年間荒野に戻らなければなりません。」

1892 年 5 月 9 日、オーストラリア、メルボルンからの手紙。

エレン・ホワイトは、ミネアポリスでの出来事を古代イスラエルのカデシュ・バルネア（民数記 13）のエピソードと並行するものとして語り、私たちは彼らの足跡をたどって 40 年間、霊的な荒野を旅しているのだと述べています。

別の声明では、彼女は教会に対し、主は今後 40 年間、教会に新たな光を与えないだろうと告げている。

1891 年 11 月 12 日、エレン・ホワイトは総会指導部によってオーストラリアへ追放された。

これは、1888 年のメッセージの推進における彼女の影響力を排除するためであった。彼女は教会の一致と模範を保つために指導部からの指示に従い、総会の指導者の改革に希望を託した。

1892 年春-EJ ワゴナーがイギリスの教会雑誌 PRESENTTRUTH の編集者に任命され、総会によって海外に派遣され、1888 年の使者を分離し、彼らのメッセージの影響力を弱める。

1892 年 5 月 9 日-エレン・G・ホワイトは、オーストラリアの亡命先から GC の指導者たちに、SDA 教会は 1892 年から 40 年間、霊的な荒野をさまようことになるだろうと警告した。

[1925 年、SDA のテイラー・バンチ牧師は、エレン・ホワイトの「現代のイスラエル」の適用に沿って、「荒野のイスラエル、型と反型」と題する本を執筆した。-SDA 教会]

1893

夏-アメリカ合衆国議会は第四戒の第七日安息日を拒否し、「キリスト教の安息日」である日曜日に万国博覧会を閉会することに投票した。

A. T. ジョーンズは真理の灯火を灯し続けるためにアメリカに留まりました。彼は GC※1 セッションで力強く説教し、この集会でメッセージを拒否すれば SDA 教会に対する神の裁きが下されると指導者たちに警告しました。

※1 : General Conference : SDA 教会の世界的組織の最高意思決定機関。4~5 年ごと（当時は 2 年ごと）に開かれる General Conference Session（総会）では、世界各地の代表者が集まり、教会の方針・信仰理解・役員選出などが決定されます。本部は創設以来アメリカに置かれており、1893 年当時はミシガン州バトルクリークにありました。

1894

エレン・ホワイトは、1893 年の GC セッションで GC の指導部が 1888 年のメッセージを最終的に拒否すると、SDA 教会に狂信と異端が入り込むことになるだろうと警告しています。

1895

エレン・ホワイトは、現在の腐敗のせいで、GC 指導部の決定はもはや尊重できないと警告しています。彼女は、教会はローマ主義の道を辿っていると述べています。

1898 年 4 月 19 日付の『レビュー・アンド・ヘラルド』紙で、エレン・ホワイトは、キリストが古代エ

エルサレム（オリーブ山から）に下した裁きは「私たちへの警告でもある」と警告している。ミシガン州バトルクリークにある SDA 教会本部はキリストを拒絶したからである。

現代の（霊的な）エルサレム（SDA 教会）において、キリストは 1888 年、そしてその後も拒絶されました。しかし、キリストは彼らに悔い改める時間を与えてくださいます。これはアドベントの予兆、つまり 1993 年 4 月 19 日の支部会衆に対する裁きの預言です。なぜなら、一部の支部がメッセージと運動におけるキリストとその義を拒絶し、ヤシュア（イエス）と彼が遣わした使者ではなく、人間に従うことを決めたからです。彼女は『キリストの実物教材』79 ページで、「キリストが任命した使者を拒絶するなら、キリストを拒絶することになる」と述べています。

度重なる警告の後、総会本部とケロッグ博士率いる新興の SDA 健康プログラムに、神の裁きが幾度となく下される時が来ました。

1898 年 7 月 19 日、サナトリウム健康食品会社で火災が発生しました。

1900 年 7 月 21 日、サニタス食品会社の工場で再び火災が発生しました。

1902 年 2 月 18 日の早朝、アメリカで初めて自然療法が開拓されたバトルクリーク療養所で大火災が発生しました。療養所は、衛生コルセットを製造していた隣接する施設とともに完全に焼失しました。

炎の速さのせいで、患者たちの命を救うことしかできなかった。彼らは非常階段を整然と降り、皆が驚くほどの礼儀正しさを自分の順番を待っていたのだ。

1898 年 12 月 30 日、レビューアンドヘラルド出版工場が全焼し、1903 年 5 月 18 日には療養所の馬小屋が全焼し、慈善患者 1 名と馬 13 頭が失われるという悲惨な事態に陥りました。

これらの火災はすべて、消防署によって原因が特定できないと公式に判定されました。

エレン・ホワイトは、これらは神の行為であり、出来事が起こるずっと前から天使の「燃える剣」の予言がこれらの機関にかかっていたことを示唆していると述べた。

1903 年までに、バトルクリーク SDA カレッジはバトルクリークから移転しました。

8 月に SDA 世界本部はワシントン郊外のメリーランド州タコマパークに移転しました。

1915 年にエレン・ホワイトが亡くなってから何年も経った 1922 年、バトルクリークのグレート・タバナクル教会は謎の状況下で焼失しました。

SDA タバナクルは、バトルクリークの西端で 13 番目に発生した大火災でした。1 棟を除くすべての建物は、セブンスデー・アドベンチスト教会の所有物でした。

1899 年 10 月 31 日-レビュー&ヘラルド紙で、エレン・ホワイトは、第一、第二、第三の天使のメッセージが再び与えられ、まず SDA 教会に新たな光が与えられると預言しています。彼女は、バビロンから出てこいという呼びかけは、バビロンを構成する教会だけではなく、まず「教会」[教会の指導者に浸透していたバビロンの慣習から]に与えられると書いています。これは、1889 年の E・G・ホワイトの「私たちは、再び出てくる必要がないことを望んでいた」という発言に言及しており、1991 年 10 月 3 日のアドベンチスト・レビュー誌の記事「教会は倒れることができるか?」で引用されています。また、1902 年 2 月 4 日の R&H 紙に掲載された E・G・ホワイトの発言と、SDA 教会におけるバビロンの慣習に関するブランソン長老のコメントも参照してください。

1901 年、エレン・ホワイトがオーストラリアでの亡命生活から帰国。

彼女は、総会ではもはや「人々への神の声」ではないと記している。エレン・ホワイトは（聖霊の導きを受けて）総会の指導者たちに教会の組織変更を勧告する。A.T.ジョーンズと E.J.ワゴナーは彼女を支持する。総会憲章が改正され、総会会長の職が廃止され、総会委員会が設置され、小委員会や地方大会などが設置される。しかし、聖霊によって求められたすべての改革が行われたわけではない。

1901 年 4 月 3 日付総会会報第 34 回第 4 巻号外 1、25 ページで、ホワイト姉妹は SDA 総会について次のように述べています。

「かつて総会がそうあるべきだと信じていたように、これらの人々が神聖な場所に立って、人々に対する神の声となるべきだった。それはもう過去のこと。今私たちが求めているのは再編だ。基礎から始め、異なる原則の上に築き上げていきたい。」

シスター・ホワイトの死後、数年を経て、新たな組織、あるいは「再組織」がついに実現しました。それは「異なる原則」、つまり、もう一人の生ける使者を通した生ける預言の霊に基づく新たな組織であり、試練の期間の残りの間、再臨運動にただ一人の使者しかいないのではなく、預言の霊の職務の継続的性質を証明しています。

1902 年 12 月 2 日ーエドソンとウィリー・ホワイトに宛てた手紙（4～5 ページ）の中で、エレン・ホワイトは息子たちに、GC の指導者たちの霊的状态に嫌悪感を抱き、彼らへの支持を撤回し、自宅で執筆活動に専念することを決意したと伝えています。彼女は具体的にこう述べています。「私は今、自分の特別な仕事に専念し、彼らの評議会（総会）には一切関与せず、遠近を問わずキャンプミーティングにも一切参加しません。神が私に与えてくださった光に正反対の働きをする彼らの傾向に、私の心は惑わされることはありません。もう終わりです。私は神から与えられた知性を保ちます。…今こそ、私は変わらなければなりません。」

1903

E・J・ワゴナーはイギリスでの亡命生活から帰還した。1888 年のメッセージという重要な新しい光、すなわち 1903 年総会の最終結果（1901 年総会における改革案の撤回、権限の分散化）が最終的に完全に拒絶されたため、ホワイト姉妹は「忠実な町（SDA 教会）は娼婦と化し、神の臨在と栄光はそこから去ってしまった！」と述べている（『証』第 8 巻、250）。

GC 指導部は、SDA 教会が天の聖所の秤で量られていると警告しています（8T247）。その結果、JH ケロッグ博士の著書『Living Temple』の中で、汎神論の教えとともに「背教のアルファ」が教会に提示されています。EG ホワイトの警告がなければ、GC 指導部は完全な背教に陥っていたでしょう。彼女は教会に対し、「背教のオメガ」ははるかに巧妙で危険なものであり、将来のある時点で SDA 教会に降りかかると警告しています。SDA 教会の歴史において、1903 年は再臨運動における分水嶺となる出来事であり、教会統治における止めることのできない最終的な下降局面であり、天の御目から見て教会統治に関する最終的な決定点でした。二度と同じ状況に戻ることはありませんでした。

100 年後、1993 年 1 月、チャールズ・ペイスがデイビッド・コレシュに、1984 年の過越祭で聞き、受け入れたメッセージの中で、真理の原点に立ち返り、リバイバルと改革を受け入れるよう求めた嘆願を、デイビッド・コレシュは拒否した。1984 年からちょうど 9 年後（9 は審判）、彼と彼の信奉者のほとんどは、悔い改めを拒否したため、執行審判によって滅びた。これはアドベント運動における背教の最大の転換点であった。ある男が、自分がキリストの生まれ変わりであると信じ、教え、メシア・ヤシュア（イエス・キリスト）を無力なもの、全くの人間であり罪深い存在に仕立て上げたのだ。

1905

エレン・ホワイトは、御業の先頭に立つ「大背教」は今後も続き、さらに悪化するだろうと記している。「証」シリーズ B、第 7 巻、56 ページ。

1906

EJ ワゴナーは SDA 教会から除名される。

1909

AT ジョーンズは SDA 教会から除名される。

1915 年 7 月 16 日、ヨハネの黙示録第 14 章の第三天使のメッセージであるグレート・アドベント運動の使者、シスター・エレン・G・ホワイトが、カリフォルニア州の自宅で 87 歳で逝去。彼女は、福音の収

穫を完結させ、地上に天の御国を完全に確立するという天からの召命、特別な復活（ダニエル書 12 章 2 節）を待ち望んでいた（7T17）。『祝福の山からの思い』108 ページ）

エレン・G・ホワイトの半世紀にわたる指導の下、彼女は定期刊行物や書簡を除いて 46 冊以上の著書を執筆し、総語数は 2500 万語を超え、アドベンチストの信仰、高度な健康問題、社会問題のほぼあらゆる側面を扱っています。彼女は史上最も多作な女性作家であっただけでなく、二人の女性編集スタッフの協力を得て、史上最も多作な作家となりました。

彼女は主に、アドベンチスト系医療機関、アドベンチスト系大学、世界最大の教区学校制度、伝道センター、そして宣教活動の設立に尽力しました。彼女の影響力は SDA 教会の初期の組織と設立に大きく及び、神学的には「教会をアリウス派、粗野な律法主義、汎神論から脱却させた」功績が認められています。

彼女の死は、SDA 教会に預言者の指導者の空白を生み出しました。預言者の指導者は、初期のアドベンチスト運動の創設理念と独自の教義の一つでした。彼女の死後、主流派の SDA 教会は創設時のメッセージと指導者構造から大きく逸脱しました。彼女は死の何年も前に総会に対し、SDA 教会のより大きな背教が迫っていることを警告していました。

三人の天使のメッセージの繰り返し

1915 年以降、三天使のメッセージは「繰り返し」の段階を迎えることになりました。EG ホワイト夫人による「黙示録第 14 章は最も深い関心を抱かせる章です。この聖句は間もなくその意味の全てが理解され、ヨハネに与えられたメッセージは明確な発音で繰り返されるでしょう。（RH1904 年 10 月 13 日）」{7BC978.10}

「第一、第二、第三の天使のメッセージは繰り返されるべきです。教会に次のような呼びかけがなされるべきです。「大いなるバビロンは倒れた。倒れた。そこは悪魔の住みか、あらゆる汚れた霊の巢窟、あらゆる汚れた憎むべき鳥の巢窟となった。すべての国民は彼女の淫行に対する激しい怒りのぶどう酒を飲み、地の王たちは彼女と淫行を行い、地の商人たちは彼女の豪華な食物によって富を得た。・・・わが民よ、彼女から出て行きなさい。彼女の罪にあずからず、彼女の災害に巻き込まれないようにしなさい。彼女の罪は天にまで達し、神は彼女の咎を覚えておられるからである。」{RH、1899 年 10 月 31 日、1945 年、1956 年、1967 年、1970 年、1983 年、1984 年、1985 年、1986 年、1987 年、1988 年、1989 年、1989 年、1989 年、1989 年、1990 年、1991 年、1992 年、1993 年、1993 年、1994 年、1995 年、1996 年、1997 年、1998 年、1999 年、1993 年、1993 年、1994 年、1995 年、1996 年、1997 年、1998...11}

「第一と第二の天使のメッセージを受けて花婿を迎えに出た多くの者は、世界に与えられるべき第三の、最後の試練のメッセージを拒否しました。そして、最後の呼びかけがなされる時も同様の立場を取るでしょう。」{RH、1899 年 10 月 31 日、第 12 節}「黙示録 18 章に表されているもう一人の天使がメッセージを与える時、同様の働きが成し遂げられるでしょう。第一、第二、そして第三の天使のメッセージは繰り返される必要があります。」16MR

「私は三つの段階、すなわち第一、第二、そして第三の天使のメッセージを示されました。私に同行していた天使は言いました。「これらのメッセージの塊を動かしたり、ピンを揺らしたりする者は災いを受ける。これらのメッセージを正しく理解することは極めて重要です。「魂の運命は、どのように受け入れられるかにかかっている。」私はこれらのメッセージを通して再び啓示を受け、神の民がいかに貴重な経験を得たかを知りました。それは多くの苦しみと激しい葛藤を通して得られたものでした。神は彼らを一步一步導き、ついには彼らを揺るぎない堅固な基盤の上に置いたのです。——『初期の著作』258、259 ページ（1858 年）{CW53.1}

1916 年 5 月 28 日-EJ ワゴナーが心臓病のため 61 歳で死去。

1923 年 5 月-AT ジョーンズがバトルクリークで 73 歳で死去。

1925

1890 年から 35 年後の 1925 年、SDA 牧師テイラー・バンチが、その画期的な研究シラバス「荒野での 40 年間、型と対型」の中で、対型の「荒野をさまよう」という概念を取り上げ、出版しました。このシラバスでは、セブンスデー・アドベンチスト教会からの対型の福音の収穫である 144,000 人の初穂を封印し集めることにに関して、エレン・ホワイトが 30 年前に教えたことを詳しく説明しています。

ほとんどのアドベンチストは、SDA 教会とアドベント運動の当初からの目的が、終末の魂の収穫の初穂、つまり清められたトーラ（戒律）を守るクリスチャンの集団を集めて捧げ、聖霊の注ぎを十分に受けて、終末の二番目の実の収穫の働きを「納屋」、つまり王国に集める資格を得ることであったことに気づいていません。

テイラー・バンチによる研究は、1888 年に何が起こったか、そしてそれが教会にどのような影響を与えたかを見事に裏付けています。

しかし今……40 年間の放浪はほぼ終わりを迎えようとしていた！……1890 年から 1930 年まで！

1929

アドベント運動における 40 年間の精神的な荒野が終わり、新しい光が与えられることになります。

カリフォルニア州ロサンゼルス SDA 大学教会で、評判の高い安息日学校の教師であり、安息日学校の監督でもあるビクター・T・ハウテフが、当初は『安息日学校季刊』に基づいて一連の預言的なレッスンを教え始めました。このレッスンは地元の教会員の間で好評を博し、人気が高まっていきました。

ビクター・T・ハウテフは 1886 年、ブルガリアのライコヴァに生まれ、東方正教会で育ちました。彼は香水を販売する商人として成功を収めました。しかし、競合他社よりも安く商品を販売していたため、幾度か破壊行為に遭いました。彼は東方正教会当局に商取引上の紛争の解決を依頼しましたが、拒否されたため、商取引上の問題を恒久的に解決しようと決意し、1907 年にアメリカ合衆国へ移住しました。ウィスコンシン州ミルウォーキーを離れ、イリノイ州ロックフォードで小さなホテルを経営しました。1918 年にアドベンチスト伝道集会に出席し、SDA のメッセージを受け入れ、1919 年 5 月 10 日に教会に入会しました。寒冷な気候のため、1923 年にカリフォルニアへ移住しました。

謙虚な安息日学校の教師が SDA の人々と分かち合ったことは、教会の創設者たちがそれまで理解したり教えたりしなかった多くの旧約聖書の預言に関する新たな光にほかなりません。

安息日学校のクラスは非常に人気が高まり、教会の指導者たちは心配して脅迫するようになりました。

不信仰と教会の支配が常に動機となる要因です。

ビクター・ハウテフの安息日学校のクラスは、教会の指導者によってすぐに閉鎖されました。

「神の手」は、教会の向かいにある会員の家を提供し、教会の公式な認可や指導者の介入なしに、安息日学校がそこに移転して活動を続けられるようにしています。

安息日学校のクラスは新しい場所でも繁栄し、成長を続けています。

SDA 教会には、1890 年代初頭にエレン G. ホワイトによって宣言され、1925 年にテイラーバンチによって確認された 40 年の期間の終わりを示す預言的な出来事は他にはありません。

Copyright © 2025 TheAdventMovement.Net. All Rights Reserved.